

# 第32回三遠南信サミット 2025 in 東三河

地域の強靱化を考える

～ 連携の再確認 ～



主催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

共催：三遠南信地域経済開発協議会

後援：経済産業省、国土交通省

13:00~14:30 (90分)	<p><b>分科会</b> (ボールルーム)</p> <p>■開会宣言 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 会長 浜松市長 中野祐介</p> <p>(1) 第1分科会 『平常時・非常時におけるインフラの活用に向けて』 (コーディネーター) 愛知大学地域政策学部教授・三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行氏</p> <p>(2) 第2分科会 『多様な主体で取り組む「広域的な共助」について』 (コーディネーター) 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科講師 宮國康弘氏</p> <p>(3) 第3分科会 『地域で取り組む非常時の「事業継続」に向けた取組について』 (コーディネーター) 公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事・調査研究室長 高橋大輔氏</p>
14:30~15:00 (30分)	<p>～移動(全体会会場(穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール)へ)～</p>
15:00~15:20 (20分)	<p><b>三遠南信地域内民俗芸能鑑賞</b> (主ホール) (披露) 東蘭目花祭り保存会 (愛知県北設楽郡東栄町)</p>
15:30~17:30 (120分)	<p><b>全体会</b> (主ホール)</p> <p>■会長挨拶 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 会長 浜松市長 中野祐介</p> <p>■開催地代表挨拶 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 豊橋商工会議所 会頭 神野吾郎</p> <p>■来賓挨拶 経済産業省 中部経済産業局 地域経済部長 伊藤浩行氏 国土交通省 中部地方整備局長 佐藤寿延氏 愛知県副知事 江口幸雄氏</p> <p>■列席者紹介及び祝電披露</p> <p>■講演『被災地の本当の本当の話をしよう』 (講師) 株式会社オフィス TOBA (前岩手県陸前高田市長) 戸羽太氏</p> <p>■前回サミット後の事例報告 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 事務局長</p> <p>■分科会報告 3分科会コーディネーター</p> <p>■サミット宣言 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 豊橋市長 長坂尚登</p> <p>■次回開催地代表あいさつ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 飯田市長 佐藤健</p> <p>■閉会</p>
17:30~17:45 (15分)	<p>～移動(交流会会場(ホテルアークリッシュ豊橋)へ)～</p>
17:50~18:50 (60分)	<p><b>交流会</b> (5階 ザ・グレイス)</p> <p>■開会挨拶 豊橋市議長 議長 伊藤篤哉氏</p> <p>■閉会挨拶 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 飯田商工会議所 会頭 原勉</p>

本年度の三遠南信サミットは、平成5年度から数え32回目を迎え、会場参集により開催した。また、三遠南信サミットの分科会・全体会の様子の一部は、令和6年度中にサミット特設ページにて動画を公開する予定である。

(第32回三遠南信サミット2025 in 東三河 特設ページ <https://www.sena-vision.jp/sena/summit/no32.html>)

## 1. 事業名

第32回三遠南信サミット2025 in 東三河

## 2. テーマ

地域の強靱化を考える ～連携の再確認～

## 3. 開催日

令和7年1月27日(月)

## 4. 開催会場

分科会会場 : ホテルアソシア豊橋 5階 ザ ボールルーム  
(愛知県豊橋市花田町西宿)

三遠南信地域内民俗芸能鑑賞・全体会場 : 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール  
(愛知県豊橋市西小田原町123)

交流会会場 : ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス  
(愛知県豊橋市駅前大通1丁目55)

## 5. 主な内容

(1) 分科会 (13:00~14:30/ホテルアソシア豊橋 5階 ザ ボールルーム)

### ① 第1分科会

テーマ	『平常時・非常時におけるインフラの活用に向けて』
協議内容	「道」や「港湾」は日常生活や経済活動を支える重要なインフラである。また、大規模災害の発生時にもインフラは地域の復興に不可欠であり、道の駅などの周辺施設も支援拠点として重要な役割を果たす。 平時・非平時のインフラの活用について意見交換を行い、地域が連携して取り組むべきことについて考える。
コーディネーター	愛知大学地域政策学部教授・三遠南信地域連携研究センター長 戸田 敏行 氏
参加者 (構成団体の長)	<市町村> 豊橋市、豊川市、新城市、設楽町、東栄町、湖西市、喬木村、大鹿村 <経済団体> 豊橋商工会議所、田原市商工会、駒ヶ根商工会議所

	<p>&lt;市議会&gt; 豊橋市議会、浜松市議会、飯田市議会</p> <p>&lt;住民団体&gt; 三遠南信住民ネットワーク協議会 1名</p>
確認事項	<p>南海トラフ地震という非常に甚大な災害を前に、非常時・平常時にインフラの役割を最大限発揮せねばならず、そのためには普段から情報の共有や市域イメージの共有、顔と顔をつき合わせた信頼関係の構築が重要であり、インフラの整備や維持についても地域全体で引き続き提言をしていくことが不可欠であるとする結論を得た。</p>

## ② 第2分科会

テーマ	多様な主体で取組む「広域的な共助」について
協議内容	<p>災害など非常時においては共助による支えあいが必要であり、大規模災害時における復興までの支援には広域的な助け合いが必要となる。持続可能な地域の構築に向け、地域コミュニティの強化に向けた広域的連携や、災害時において参加者が考える「共助」、復旧・復興に向けた多様な主体の連携などについて意見交換を行う。</p>
コーディネーター	<p>日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 講師 宮國 康弘 氏</p>
参加者 (構成団体の長)	<p>&lt;市町村&gt; 田原市、浜松市、 飯田市、駒ヶ根市、飯島町、平谷村、根羽村、売木村、天龍村</p> <p>&lt;経済団体&gt; 豊川商工会議所、天竜商工会</p> <p>&lt;住民団体&gt; 三遠南信住民ネットワーク協議会 2名</p>
確認事項	<p>災害時において共助は必要不可欠であり、そのためにも普段から活力ある地域コミュニティづくりが必要である。また、三遠南信連携で築き上げてきた多様な主体による広域的な連携は、大規模災害時においても有効に機能すると考えられ、そのためにも三遠南信自動車道の早期開通が望まれる。地域ごとに非常時の対応を考えつつ、平時より多様な主体の連携を強めていくことが重要であることを確認した</p> <p>地域コミュニティの強化と普段から顔の見える関係の構築により三遠南信地域の連携が深まり、災害時はもとより、他の地域課題の解決につながるという結論を得た。</p>

③ 第3分科会

テーマ	地域で取り組む非常時の「事業継続」に向けた取組について
協議内容	行政、企業において、非常時にも活動（事業、市民サービス）を継続するための BCP 策定は、地域の復興に不可欠である。南海トラフ地震をはじめとする大規模災害を見据えると、個社 BCP だけではなく、「地域連携 BCP」などの地域経済のさらなる事業継続力強化を図る取組について意見交換を行う。
コーディネーター	公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事・調査研究室長 高橋 大輔 氏
参加者 (構成団体の長)	<市町村> 阿智村、下條村、豊丘村 <経済団体> 蒲郡商工会議所、磐田商工会議所、飯田商工会議所、伊那商工会議所 <住民団体> 三遠南信住民ネットワーク協議会 2名
確認事項	協議の総括として、地域連携 BCP 実現のための流れを以下の通り取り纏めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1ステップ「企業の BCP 策定を促進する取組みの検討」</li> <li>・第2ステップ「広域連携での防災イベントや防災教育の企画検討」</li> <li>・第3ステップ「災害支援物資や情報の広域共有の仕組みの研究」</li> </ul> 各ステップを意識して取組むことで、地域連携 BCP の実現に繋がることを確認した。  第3分科会全体を通して、非常時の「事業継続」が地域の復興に貢献することが再認識された。今後は、各参加団体が本分科会での協議を参考として、BCPの策定促進を図るとともに、各参加者が引き続き「地域連携BCP」の実現に取組み、地域のさらなる事業継続力強化を目指すことを結論とした。

- (2) 三遠南信地域内民俗芸能鑑賞（15:00～15:20／穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール）  
愛知県北設楽郡東栄町東園目地区への移住者である志多らメンバーが、地元住民と共に祭りと暮らしを継承し、未来へ繋げている姿を鑑賞。「花まつり志多ら舞」と「東園目花祭り」の特別企画を、東園目地区の花祭り保存会にご披露いただいた。

(3) 全体会（15:30～17:30／穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール）

① 挨拶

経済産業省 中部経済産業局地域経済部長 伊藤浩行氏  
国土交通省 中部地方整備局長 佐藤寿延氏  
愛知県副知事 江口幸雄氏

② 講演

演題 『被災地の本当の本当の話をしよう』  
講師 株式会社オフィス TOBA（前岩手県陸前高田市市長） 戸羽 太氏

③ 前回サミット後の事例報告

報告者 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）事務局長  
【事例1】JR飯田線サイクルトレインツアーの開催  
【事例2】前回サミット後に生まれた「天竜商工会」と「売木村」の県境を越えた交流  
【事例3】SENA 構成団体の若手職員の三遠南信周遊マップの作成に向けたワークショップ

④ 分科会報告

3分科会コーディネーターによる、分科会での議論内容の共有・報告。  
【第1分科会】戸田敏行氏（愛知大学地域政策学部教授・三遠南信地域連携研究センター長）  
【第2分科会】宮國康弘氏（日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科講師）  
【第3分科会】高橋大輔氏（公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事・調査研究室長）

⑤ サミット宣言

※三遠南信地域連携ビジョン推進会議副会長の長坂尚登豊橋市長が代表して読み上げ

6. 当日の来場者数

来場者数 約 480 名

7. その他（関連事業：三遠南信住民ネットワーク協議会による住民セッション）

開催日時	令和7年1月27日（月）10:00～12:00
開場	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース
テーマ	防災・減災につながる地域コミュニティづくりと三遠南信の連携
協議内容	被災時の対応方法として食やエネルギーなどの視点から防災・減災につながる地域コミュニティづくりや体制づくりと、災害に備えた連携とそのあり方について考える。

## 第 32 回三遠南信サミット 2025 in 東三河 サミット宣言

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、8月に南海トラフ地震臨時情報の巨大地震注意が初めて発表されました。こうした情勢を踏まえ、「地域の強靱化を考える ～連携の再確認～」をテーマとして議論を行い、我々、三遠南信地域連携ビジョン推進会議は以下の項目に重点を置き、取組を推進します。

1. 三遠南信自動車道をはじめとする「道」、三河港・御前崎港の「港湾」などの平常時や非常時の機能や役割について広域的な視点で再確認し、その役割を最大限発揮できるよう地域が連携して備えます。また、インフラの整備・維持に向けた提言活動にも一丸となって取り組みます。
2. 激甚化・頻発化する自然災害等において、地域コミュニティの果たす役割は重要度が増えています。災害時においても地域コミュニティが維持できるよう、三遠南信地域における多様な主体の連携の促進や、復旧・復興に向けた「広域的な共助」により地域コミュニティの強化を目指します。
3. 非常時の事業継続は地域の復興に貢献することからBCP（事業継続計画）の策定促進を図るとともに、「地域連携BCP」など事業者や地域の連携をもって、地域のさらなる事業継続力強化を目指します。

2030年を目標年次とする第2次三遠南信地域連携ビジョンに掲げている地域像の実現に向け、この場を共有する全ての主体が取組を推進することを確認し、第32回三遠南信サミット2025 in 東三河のサミット宣言とします。

令和7年1月27日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議  
第32回三遠南信サミット2025 in 東三河

○歳入内訳

(単位：円)

項目	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	説明
1 事業費	4,371,000	2,997,217	
2 参加負担金	780,000	1,184,000	交流会負担金 (8,000 円×148 人)
計	5,151,000	4,181,217	

○歳出内訳

(単位：円)

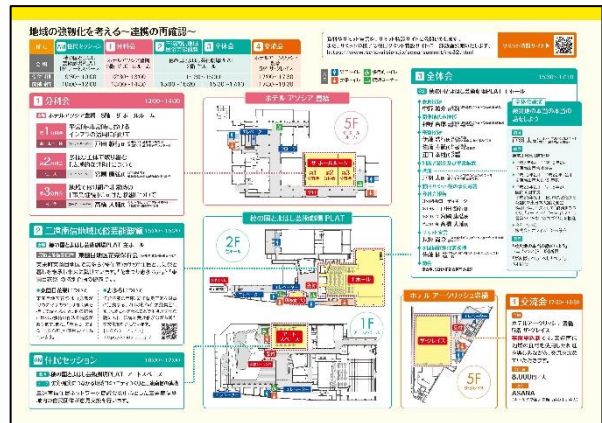
項目	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	説明
1 運営業務委託費	1,837,000	936,100	サミット運営・録画 ほか
2 会場関係費	1,407,000	1,119,725	サミット会場・備品使用料
3 交流会関係費	230,000	110,912	交流会会場設営費、食材費
4 交流会飲食費	780,000	1,192,000	うち、1,184,000 円は参加負担金を充 当
5 住民セッション 関係費	250,000	249,998	企画・運営業務委託料
6 会議費	50,000	3,300	サミット運営スタッフ説明会 会場費
7 事務費	177,000	127,180	郵送費、消耗品費、振込手数料 ほか
8 謝金	420,000	442,002	分科会・全体会登壇者謝金、民俗芸能 披露団体謝金
計	5,151,000	4,181,217	



◆チラシ



◆プログラム



◆サミット特設サイト



◆ 会長による開会宣言（別会場への配信）



◆ 第1分科会



◆ 第2分科会



◆ 第3分科会



◆ 全体会 会長挨拶  
(SENA 会長 中野浜松市長)



◆ 全体会 開催地代表挨拶  
(SENA 副会長 神野豊橋商工会議所会頭)



◆ 全体会 ご来賓  
(中部経済産業局 伊藤地域経済部長 挨拶)



◆ 全体会 ご来賓  
(中部地方整備局 佐藤局長 挨拶)



◆全体会 ご来賓  
(愛知県 江口副知事 挨拶)



◆全体会 講演①  
(株オフィス TOBA 戸羽太氏)



◆全体会 講演②  
(株オフィス TOBA 戸羽太氏)



◆全体会 前回サミット後の事例報告  
(SENA 事務局)



◆全体会 分科会報告  
(3分科会コーディネーター)



◆全体会 第1分科会報告  
(愛知大学 教授 戸田氏)



◆全体会 第2分科会報告  
(日本福祉大学 講師 宮國氏)



◆全体会 第3分科会報告  
(東三河地域研究センター 常務理事 高橋氏)



◆全体会 開催地代表挨拶  
(SENA 副会長 長坂豊橋市長)



◆全体会 開催地代表挨拶  
(SENA 副会長 佐藤飯田市長)



◆全体会 正・副会長集合写真①



◆全体会 正・副会長集合写真②



◆三遠南信地域内民俗芸能鑑賞①  
(東蘭目地区花祭保存会・志多ら)



◆三遠南信地域内民俗芸能鑑賞②  
(東蘭目地区花祭保存会・志多ら)



◆交流会 (豊橋市住みます芸人 ASANA)



◆三遠南信観光展示ブース



